

「北九州市安全・安心条例行動計画」（案） に対する市民意見提出手続きの実施結果

1 実施期間 平成27年7月1日（水）～7月31日（金）

2 意見提出状況

(1) 意見提出者 65人

(2) 提出意見数 102件

(3) 意見提出方法

ア 指定場所への提出 25人

イ 郵便 2人

ウ ファクシミリ 31人

エ 電子メール 7人

3 提出された意見の内訳

分類名	件数
計画全般に関するもの	17
行動計画の目標について	8
方向性Ⅰ 安全・安心に関する市民意識の高いまちづくりの推進について	8
方向性Ⅱ 安全・安心な環境の構築について	50
①地域における安全・安心に関する活動の推進（ソフト面）	(31)
②安全・安心に配慮した環境の整備（ハード面）	(19)
方向性Ⅲ 安全・安心に関する相談及び支援体制の充実について	0
方向性Ⅳ 安全・安心な都市イメージの発信について	9
特に配慮すべき対象への安全対策について	3
その他	7

4 計画への反映状況

分類名	件数
計画に掲載済み、または計画期間中に実施・検討予定	87
計画に追加・修正あり	5
計画に追加・修正なし	3
その他	7

5 「北九州市安全・安心条例行動計画」（案）に対する意見と市の考え方

「資料1」のとおり

6 意見に基づく「北九州市安全・安心条例行動計画」（案）の修正

「資料2」のとおり

7 修正後の「北九州市安全・安心条例行動計画」（案）

「資料3」のとおり

「北九州市安全・安心条例行動計画」(案) に対する 意見と市の考え方

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済み、
または計画期間中に実施・検討予定
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
計画全般に関するもの				
1	本市の現状や実態が概ね把握できた。	安全・安心を実感できるまちを実現し、安全・安心なまちづくりを次の世代に継承していくため、市と市民、地域団体、事業者等が一体となって本計画を推進していきます。	1	①
2	安全・安心に関わる全ての施策・行動等を網羅しており、ハード面とソフト面の関連性も肯定できる。		1	①
3	行動計画が作成されたことは、市の本気度が見え、素晴らしいことだと思う。内容的にも市民意識、環境づくり、相談・支援体制～イメージ発信と充実したもので、問題はいかに皆で実行できるかということだと思う。		1	①
4	「北九州市安全・安心条例行動計画」(案)を読ませていただいた、この行動計画の趣旨・内容に賛同する。		1	①
5	この行動計画には総合的、計画的かつ継続的に活動を推進するための様々な施策がふんだんに盛り込まれており、また、目標が具体的に数値で表されていることも非常に分かりやすいと思う。		1	①
6	これまで、安全な街をつくるのは警察の仕事だと思っていたが、住んでいる人や働いている人も協力しないといけないことがよく分かった。普段の何気ない行動の中で、少しでも役に立てるよう気をつけたいと思う。		1	①
7	「安全・安心なまちづくり」に対して、市民はいろいろと工夫を重ねて活動している。今回の「安全・安心条例行動計画」はこれに応じて行政が人的・物的援助等を前面に出した具体策と思う。		1	①
8	これまでの行政の努力が評価されつつも、さらにひとつ上のサービスを要求される「子育て」「防犯・暴走」「医療」「身近な生活環境」などに関するについて重点的に取り組んでいただきたい。		2	①
9	この行動計画が市民に定着されるためには、紙の情報提供のみではなく、そこで活動、活躍されている方の生の声を反映されなければ、素晴らしい行動計画も定着にはつながらないと思う。		2	①
10	北九州市民の中で、まだ多くの方が、この「安全・安心条例」を知らない人がいると思う。北九州市の安全・安心条例を広く皆さんへ享受させて自分たちの街は自分達で守ることを市民の方達へ伝え本当に素晴らしい街なのかを考えて安全・安心意識の向上を図る必要があると思う。		2	①
11	①校区で活躍されている生の声を吸い上げるための代表者の会議の開催や②行政が校区に向いて説明し校区の実態を知ること。市民一人一人が理解をしながら行動に参加する。多少時間はかかっても根強く活動していけば誇れる北九州市になると信じている。		2	①
12	せっかくの計画なので、広く市民への周知をお願いしたい。教育の一環として、小中学校等の授業に取り入れるようにしてはどうか。		2	①

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済み、または計画期間中に実施・検討予定
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
13	専門用語には説明があると分かりやすい。	ご意見を踏まえ、専門的な用語と思われるものには説明を加えます。	3	②
14	計画を進める上で、どの取組にどの程度の予算を使ったか、市民に対して具体的に示したほうが良いと思う。	効果検証については、市の基本構想・基本計画の事業評価を活用することとしているため、その中で予算の執行状況についてもお示しすることとしています。	3	①
15	重点事業を分かりやすく記述しているが、その中に「暴力団排除の推進」や「消費者啓発の推進」など喫緊の課題は、「重点事業」にすべきではないか。	ご指摘の事業については、従来から、発生状況等にに応じて様々な施策を展開して経緯もあり、今回、重点事業とはしていませんが、本市の重要な事業として認識しており、粘り強く、取り組んでまいります。	3	③
16	体系図の中に「推進」「高揚」といった言葉が多用されているが、それで何をするのか具体的な方策・行動が市民には解らない。	行動計画の体系図や概要版では、紙面の都合もあって、主に事業名として具体的な取組内容等は省略しました。しかし、行動計画（アクションプラン）の本編には、各事業ごとに具体的な内容等を記載して、それに沿って事業を推進していきます。	3	①
17	方法や取り組み方を明確にしてほしい。		3	①
行動計画の目標				
18	「誰もが安心を実感できるまち」になるためには、実際に犯罪にあわないというだけではなく、乱暴な者（そのように見える者を含む）に会わないということが、日常生活で安心を実感できることにつながると思う。	安全・安心なまちづくりに関する取組や情報発信、若者や事業者などへの安全・安心に関する活動への参加促進など、本計画に沿って総合的、計画的に施策を推進していくことを通じて、「誰もが安心を実感できるまち」の実現に努めていきます。	2	①
19	目標達成のためには、行政が縦割りではなく、横断的な連携を取りながら実施する必要があると思う。一部局に任せるのではなく、全部局が各々目標を立て連携を取りながら、目標達成に協力することが不可欠だと思う。	今回、掲げる目標の実現には、行政内部の連携はもとより、市民、事業者、関係団体、警察の協力が不可欠ですので、ご意見を踏まえ、十分連携して取組を推進していきます。	2	①
20	犯罪の認知件数を下げるためには、平成20年頃に実施された交番の統合により削減された警察官の増員が必要不可欠である。いつも派出所に誰もいない現状では達成は困難である。	福岡県警察では、交番機能強化の観点から、平成15年8月から交番・駐在所の配置見直しを実施するとともに、夜間・休日の体制強化やパトロール活動の強化を進めた結果、24時間体制が確保され、犯罪も大幅に減少してきたと聞いています。 警察官の増員については、治安維持、暴力団壊滅に向けて増員を国に要望し、毎年定数増が図られてきており、引き続き福岡県警と連携して国に対し警察官増員の要望を行っていきます。	2	①
21	目標の設定が低すぎる。目標は高く持つべきでは（政令市ベスト3→ベスト1）。	目標については、これまでの実績や現状、課題を踏まえ、安全・安心なまちづくりに関する活動を行う団体、専門家が集う「安全・安心推進会議」で議論を重ね、定めたものですが、市民、事業者、行政、警察等が連携して、かなりの努力なしには実現しない、高い目標となっています。	3	③
22	「目標」の項目中、「政令市12位⇒ベスト3」の意味が不明。せめて、「ベスト1を目指して」にしては。「ベスト3」は当初から及び腰の姿勢では。	まずは、この目標に向け市を挙げて取り組みますので、ご協力、ご理解をお願いいたします。	3	③
23	防犯パトロール活動への参加者を増やすことは、防犯パトロールへの認識と理解を高めることでいいことだと思う。		1	①
24	「北九州市安全・安心条例」が平成26年7月に施行されて1年が過ぎたが、「日本トップクラスの安全なまち」及び「誰もが安心を実感できるまち」を目指すためには、地域での様々な安全・安心に係る活動を発展・継続させ、今まで活動に参加しなかった方々を巻きこんでいく必要がある。	現在、生活安全パトロール隊など地域防犯活動に約1万人の方が参加されていますが、目標では、若者や事業者などより多くの方に参加の働きかけを行うなどして、日頃地域で行っている防犯パトロール活動の参加者数を2万人以上とするものです。これを通して、地域とのつながりを促進し、地域の防犯活動の活発化につなげていきたいと考えています。	2	①
25	全市一斉の1万人防犯パトロールを2回して2万人以上参加の防犯パトロールを実施しても安全・安心なまちづくりにはつながらない。現在各地域で実施している防犯パトロールの回数を1回でも増やす方が効果は大きいと思う。（人数ではなく回数増を）		3	①

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済み、または計画期間中に実施・検討予定
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
方向性 I 安全・安心に関する市民意識の高いまちづくりの推進				
26	現在、少子高齢化、情報化社会の進展、我々の校区、街も同じ。又、外国人の来訪もあり、より一層の連携が望まれる。校区、小学校、老人会等、「自分の地域は自分で守る」との強い信念でこれからも、行政、警察署も含め、継続的にパトロールを実行していく事が大切だと思う。各事業者を含め、横の連携を深めていければと願っている。	安全・安心なまちを次の世代に継承していくためにも、安全・安心なまちづくりの新たな担い手を育成していくことは重要と考えます。 これまで地域との関わりが薄い方に対して、また、若者や事業者などより多くの方に対して、参加の働きかけを行うなど、活動の新たな担い手を育てていくこととしています。	2	①
27	下校時に合わせて見守りに出ているが、活動する人も高齢で、長続きせず人材確保が困難である。		2	①
28	まちづくり協議会・自治区会は地域における、防犯・防災活動、環境美化、交通安全、非行防止等多岐に渡り日常的に活動しているが、近年、超高齢社会到来の中で活動の担い手が急速に減少している。そうした実態を考慮し、行政としての支援の質・量（ハード・ソフト）を抜本的に検討すべきだと考える。		2	①
29	現在、子ども達の見守りや声かけ及び夜間に於ける安全パトロールを実施。また、迷惑防止パトロールに活動しているが、参加者の高齢化に伴い減少が顕著で、維持するのが困難。まちづくり内でも検討しているが打開できないのが現状。若い世代にパトロール活動に参加してもらえるよう行政からの啓蒙・啓発をお願いしたい。		2	①
30	市民意識の高いまちづくりの推進の中に、歩行中のスマホ操作や音楽鑑賞等の制限も必要ではないか。		2	①
31	本年6月1日より、自転車の道路交通法が改正・施行されたので、警察の方を講師に、市民センターで、事故を起こさないための「自転車の正しい乗り方やマナー」を指導して頂きたい。北九州市が推進するマナーアップや迷惑行為防止の取り組み等に対して、警察等の協力がなければ推進は難しく、また一般市民の協力は得られないと考える。（共稼ぎ世帯が多いので、親子で参加をするためには実施日を土曜日か日曜日、あるいは平日であれば午後7時以降でお願いしたい）		2	①
32	暴力団対策は、警察とのきめ細かい情報交換で、警察は徹底した市民保護を促進する。		安全・安心なまちづくりを行う上で、暴力団排除の推進は極めて重要と考えます。 今後も、市の事業からの暴力団排除をはじめ、暴力追放大会の実施や市民等への支援など、警察等との連携を深め、官民一体となった暴追運動を強化します。	2
33	全国で初めての特定指定危険暴力団の発生で、北九州市のイメージが非常に悪くなっている。北九州市内での暴力団対策は条例を最大限厳しくし、通常の3倍程度の罰金を科す等で、北九州での暴力団活動をできにくくする。	2		①

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済み、または計画期間中に実施・検討予定
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
方向性Ⅱ 安全・安心な環境の構築				
地域における安全・安心に関する活動の推進（ソフト面）				
34	生活安全パトロールについて、帽子・ジャンパー・懐中電灯・腕章等は5年に1回程度で、必要なパトロール隊で要求のあった隊のみに配布してほしい。電池等の消耗品は現状で良いが、懐中電灯の球切れが多いため、今までに配布された半数が使用不能の状態であるなど、無駄が多すぎる。	安全・安心なまちづくりのためにも、地域社会における防犯、青少年の非行防止その他安全・安心に関する活動を推進していくことは重要と考えます。ご意見を踏まえ、「地域活動の推進」の中に、「パトロール活動等に対する地域の実情や要望を踏まえながら」という文言を追加します。	2	②
35	青色パトロール車には、年間使用燃料50リットル程度の補助をしてほしい。まったくのボランティアでは参加要請に難あり。生活安全パトロール隊には全く予算がないため、防犯組合・自治会の協力態勢で活動しているため。		2	②
36	ボランティア活動をするにも、ある程度の制服・帽子等が必要。可能な範囲で立ち上げ活動資金（補助金）として、支援してほしい。		2	②
37	パトロール隊への制服、帽子など支援をもっと手厚くしてほしい。		2	②
38	生活安全パトロールを続けることは良いと思う。今後も続けていきたい。		1	①
39	現在、問題点になることはない。地域では、まちづくり協議会の防犯防災部会を中心に、夜間パトロールを強化して、住民へ少しでも安全・安心なまちづくりに対応している。		1	①
40	夜間のパトロール事案について提案。 ①未実施地区の公表（地区住民の関心と呼びのために。特に刑法犯の多い校区・地区） ②呼びかけ音頭（ことば）の公募（当地区では拍子木のあとに「火の用心」と連呼し呼びかけている） ③参加者の不測の事故（転倒等）に対し、公共で最高限度額の保険に加入する。		2	①
41	パトロール隊の活動等の紹介等をもっとすれば、多くの市民が知り（各校区のパトロール隊の存在を知らない人もい）、加入者が増すのではないかと思う。		2	①
42	具体的に、市民一斉パトロールなどのように、市民が一丸となって活動できる機会を増やしてはどうか。		2	①
43	昨年、1万人の夜間一斉パトロールに参加した。勤めているのでこのような活動があることを知らなかった。地域の人々が地域を見守るという活動は、計画に書かれているように地域のつながりを強める取組だと感じた。		1	①
44	昨年度の市で一斉に行ったシェイクアウト訓練や1万人の防犯パトロールなど、安全・安心のため、市が頑張っていること、変わろうとしていることは感じる。	1	①	
45	一斉パトロールについて、今後も、防犯だけでなく、地域のコミュニティを強める活動として、継続していただきたい。そしてこの活動が市民として誇れる活動となることを期待している。	1	①	
46	市民一斉夜間の安全・安心パトロールについて市全体で取り組むことで、目的にもあるように、安心・安全に関する意識の高揚、定着が期待でき、子供も参加することで、将来的には少年の非行の件数の減少も望めると思う。	1	①	
47	一斉パトロールについて、ギネス記録への挑戦を掲げることで、市民に興味を持ってもらうことができ、多くの方が参加することも見込める。よって、この取り組みは是非とも進めていくべきだと思う。	1	①	

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済み、または計画期間中に実施・検討予定
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
48	市民一斉夜間の防犯パトロールについて、参加することにスタンプを押していく認定証（カード）をつくり、一定以上スタンプがたまれば、防犯活動に役に立つグッズや、その他、プレミアム商品券的なものを贈呈する仕組みを作れば、参加者のモチベーションも向上し、子どもから年長者まで幅広く、継続的に活動に参加できる一助なるかもしれないと思う。	地域住民のきずなや助け合いなど、安全・安心を支える良好な地域社会をつくっていくためにも、そのきっかけとして、より多くの市民等に、市民一斉夜間の防犯パトロールに参加していただくことが重要です。 多くの市民に、地域とのつながりの重要性を認識していただくとともに、自主防犯活動に取り組む学生ボランティアや事業者をはじめ、広く市民に参加の働きかけを行っていきます。 また、パトロール参加者が犯罪等の被害に遭わないよう、広報や啓発、情報提供、助言等を行ってまいります。	2	①
49	一斉パトロールの実施によって、市民が一斉に家を空ける、また、家が空く日にちが他人にも知られているということになると思う。そのことから、空き巣や放火等の犯罪件数の増加が懸念されるため、家に誰もいない時間帯の防犯対策等、本取り組みへの参加者に対するフォローも策定、明確化してほしい。		2	①
50	安全・安心条例が施行され、5ヶ年行動計画が立案されたことは素晴らしいと思う。自治会へより多くの加入者が増えるように、行政、地域団体、市民が一丸となって推進しなくてはならない。		1	①
51	超高齢化が進み、地域内での関係性が薄れている。田舎部は役割が多く、自治会から脱会する者が増えている。役割が一部の人たちに集中し重荷となり行事等円滑に進まない。		2	①
52	防災訓練等、行事に参加しない人が多い。高齢者は参加しにくい。家から出ない、このような人たちを参加させる方法がほしい。		2	①
53	青少年・子どもが少ない、超高齢化に伴い、高齢夫婦や一人暮らしが多くなり、地域での対応ができにくくなると思う。種々の対策・検討するうえで大きな課題と考える。	本市の安全・安心なまちづくりは、これまで、地域団体が中核となって市民が互いに支え合い、思いやる地域社会の取組の中で行われてきました。 このため、本条例では、自治会等へ加入するなどして、安全・安心に関する活動へ積極的に参加するよう盛り込んだところであり、今後とも、関係機関、関係団体、事業者等と連携しながら、地域活動への参加者拡大に向けて施策を推進していきます。	2	①
54	近年、高齢化になり、自治会を脱退する方が多くなり、区全体的に減少して、パトロール隊に参加する人がいなくなり、何をしても人手が少なく、安全・安心なまちづくりができないのが現状。		2	①
55	今一番を考えなければならないのは高齢者対策だと考えている。自治会、町内会が中心となってこの対策に取り組むことが喫緊の課題だと思う。		2	①
56	自治会加入促進活動を行政機関においても、市民がより多く加入する・できるよう多方面でもっとPRを実施、一人でも多くの加入者が増えるように推進してほしい。		2	①
57	計画への全市民参加のために、①町内会での自主取り組み強化②町内会加入促進と優遇策の策定を要望する。		2	①
58	みんなde Bousaiを参加しやすい日程にしてほしい。		2	①
59	北九州市は自然災害が少ないが、いつくるかわからないので、その対策をしっかり立てておく。		2	①

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済み、または計画期間中に実施・検討予定
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
60	非行を生まない青少年の健全育成は大変重要だと思う。	<p>本計画では、「道徳教育などによる規範意識の醸成、安全・安心に関する教育、補導等の活動、薬物乱用の防止、いじめの防止等のための対策により、青少年の健全育成を推進する」としています。</p> <p>警察その他の関係機関と連携し、青少年の非行を生まない地域の実現を目指し、青少年の非行防止施策を総合的かつ積極的に展開します。</p>	1	①
61	立直り支援も大切だが、まずは道を踏み外さない取組に力を入れてほしい。		2	①
62	私は、これからを支える若者の不登校対策やいじめ対策、非行防止、安全・安心意識に期待しています。		2	①
63	オートバイの暴走族を一扫してほしい。20歳前後の若者が手に職を持たず、市民大迷惑で、やがて暴力団に加入する恐れがある。		2	①
64	犯罪未然防止のため、不良少年等が集まる場所へのパトカー巡回を強化してほしい。		2	①
安全・安心に配慮した環境の整備（ハード面）				
65	最近、落書きが増えたように感じていたら、案の定しばらくして近所に暴走族が出るようになった。現在の犯罪を減らすことも大切だが、犯罪を起こさせない環境づくりも大切だと思う。	<p>安全・安心な環境づくりについては、例えば、見通しをよくする設計や工事、繁茂した植栽により視界が遮られることがないように維持管理を行うことなど、監視性（見えやすいこと）や領域性（区切られていること）等に配慮することで、犯罪を起こりにくくすることができます。</p> <p>道路や公園、学校などの公共施設において、犯罪や事故、災害等を起こりにくくするような視点による整備・管理を進めるとともに、市民等にも、安全・安心に配慮した環境整備の浸透を図ります。</p> <p>本条例では、「市は、自転車の安全な利用を推進するため、自転車利用者の安全運転に関する意識の高揚を図るとともに、自転車の利用環境の整備に努めるものとする」と定めています。</p> <p>自転車利用を効率的に促進するため、自転車専用通行帯などの自転車走行空間や駐輪場などの整備を図ります。</p> <p>本条例に基づき、犯罪の起こりにくい安全・安心な環境を構築するため、市民等への防犯カメラの普及促進に向けた取組を推進します。</p>	2	①
66	安全・安心な環境の構築として、犯罪が起きにくい環境を整備する必要があると思う。身近な犯罪として自転車盗があり、これを防止する環境として、駐輪場などの整備の必要がある。身近な犯罪を減少させていくことが体感治安にもつながると思う。		2	①
67	ボランティア活動時に感じることは、この場所は樹木が生い茂り人目につきにくく危険と思われる個所が多々ある。歩道脇の樹木は、例えば子どもの身長以下といった高さ制限をしてほしい。		2	①
68	自転車盗を減少させるための一環として、駅周辺に駐輪場を整備することや、レンタル自転車（タウンモービルネットワーク）の基点の場所を増やす等してほしい。		2	①
69	自転車専用道の拡大設置をお願いしたい。		2	①
70	各区の防犯組合に貸出し用の防犯テレビカメラを配布し、犯罪の多発地区や、スローカー防止等のための抑止策として、目立つ防犯カメラ（一目で防犯カメラと解る色など）を貸し出してはどうか。	2	①	

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済み、または計画期間中に実施・検討予定
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
71	日中は人通りもあり、大通りは交通量も多く住みやすいが、季節により、夜になると街灯が少ないため、道を歩くのが怖い。もっと街灯を増やして、夜でも安心して道を歩けるようにしてほしい。	防犯灯については、これまで、市と地域が連携しながら設置を進めてきました。今後も、夜間における犯罪の発生防止や通行の安全を図るため、防犯灯及び道路照明の整備を行うとともに、LED化を促進します。また、犯罪等の防止や子どもをはじめとして市民が、より安全で安心して通行できるよう通学路の防犯灯の充実に向けた取組を推進します。	2	①
72	市管理分の防犯灯についてLED化へのスピードをアップしてほしい。自治会管理分についてもLED化の設置を進めている。通学路の安全確保の面からも早急に進めてほしい。		2	①
73	夜道を歩く時のひったくりや暴走族等、怖いと思うことがある。暗い道に街灯を増やしてほしい。		2	①
74	街灯をつけてほしいと思う箇所が何箇所かある。		2	①
75	防犯灯のLED化について、特に通学路の充実を望む。		2	①
76	街路灯をLEDにしたら良いと思う（明るい大通りやLED化された信号機等の周辺はしなくて良いが）。明るいLEDの街灯は、市民の安全・安心につながり防犯の役割も担うと思う。		2	①
77	通学路に危険箇所がまだまだ多く、通学路の安全確保をお願いしたい。（歩道部分のカラー舗装や簡易ガードレールの設置等）	児童が安全に通学できる環境を整えるため、教育委員会や学校関係者、警察と一体となって、更なる通学路の安全対策を推進します。	2	①
78	空き家が多く、老朽化し、家が壊れそう、樹木が生い茂り、雑草がはびこり、これにタバコの不始末で大火事にならないか心配。	防犯、防災、防火等の観点から、市民、事業者等は、自らが所有、管理する土地や建物、その他の施設を適正に管理することは重要です。本市は、これまで空き家の所有者に対して適正管理に関する意識の向上を図る啓発や空き家バンク制度などによる利活用の促進、市民の安全・安心な居住環境の形成を図るため、倒壊や部材の落下のおそれのあるなど危険な空家等の除却に要する費用の一部を補助するなど、空き家対策に取り組んできました。今年度は、「空家等対策特別措置法」に基づき「空家等対策計画」を策定し、総合的・計画的に空家対策を進めていきます。	2	①
79	今一番考えなければならないのは空家対策だと考えている。自治会、町内会が中心となってこの対策に取り組むことが喫緊の課題だと思う。		2	①
80	老朽家屋の対策については、沢山の空き家があるが、良い対策がないかと思う。		2	①
81	老朽化した土地、家屋の管理、撤去について、崩壊した場合の近隣への被害、ねずみや害虫の発生、不審者の出入り、子供や女性の連れ込み等の防止を考えると、この取り組みは必要だと思う。		2	①
82	日本人は新築思考が強いといわれる中、現在若者の市外への転出者の増加や、少子化が進んでいるため、今後空き家は増加する傾向にあると思われる。その全てを市が管理、撤去するには膨大なコスト（税金）がかかるため、空き家の管理業務を専門としている業者に委託する等の方法を取る必要があると思う。		2	①
83	空き家対策について、夜間等での出火が不安なので、 ①連絡先を隣接の人に知らせる ②若しくは届出制にする（住民票の担当へ） ③一定期間過ぎたら課税を強める		2	①

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済み、または計画期間中に実施・検討予定
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
方向性Ⅳ 安全・安心な都市イメージの発信				
84	町内の回覧板などで校区のひたたくり事件や車上ねらいなどの件数が載っているが、具体的にどこでどのような状況で起こったのか教えてほしい。	安全・安心に関する情報を誰もが知ることができる仕組みは重要です。災害に関する情報の迅速な収集・配信や、警察と連携した犯罪情報の発信に努めてまいります。	2	①
85	ハザードマップが配られておらず、取りに行った。新聞の記事では配布済みのような書き方だった。		2	①
86	「安全・安心な都市のイメージ発信」を他県の人にも分かりやすいようなものにするべき。引っ越してきた際などに分かりやすくする。		2	①
87	北九州市のイメージを払拭するために、北九州市の安全な所を広報する活動があったら良いと思う。		2	①
88	イメージアップを図ってほしい。		2	①
89	北九州市は、「手りゅう弾が店に投げ込まれた」「ロケットランチャーが民家にあった」「元警官が撃たれた」「漁協の組合長が撃たれた」「漁協関係者が刺された」などの凶悪事件が多発しており、全国的に見ても非常に治安の悪いイメージが強く、とても住み良いまちとは思えない。今回新しく作る行動計画で、少しでも住み良いまちづくりができるようお願いしたい。		2	①
90	警察等の長年に渡る努力の結果、暴力団幹部の逮捕など北九州市における治安は着実に回復してきていると思う。		1	①
91	過去の暴力団の報道などのしつこく根付くマイナスの市のイメージに負けず、決めた条例や計画を確実にこなしていき、不断の努力を続けていけばきっと、政令市の中でも特に安全な市だと思えると思う。		2	①
92	現在、暴力団壊滅に向けて相当な成果が上がっているものの、これまでの暴力団事件の経緯から、北九州市に対するダーティなイメージが払拭されていないところから、市内外に対する、安全・安心な都市イメージの発信を最重要課題とし、条例制定の普及及び啓発の成果と併せて、観光名所や祭の様子などを織り交ぜ、楽しいイメージの画像を作成して発信するなどの方法もあると思料される。		2	①
特に配慮すべき対象への安全対策				
93	一般に災害弱者と呼ばれる子ども・女性・高齢者・障害者に配慮し、行動目標として、「日本トップクラスの安全なまち」「誰もが安心を実感できるまち」を掲げ、実現に取り組むということで大変期待している。	本計画では、「犯罪における弱者」と言われている「子ども、女性、高齢者及び障害者」を特に配慮すべき対象と位置づけて、警察と連携しながら犯罪抑止に向け施策を推進します。	1	①
94	子どもの安全対策のうち「青少年の健全育成の推進」について、実効性の伴った施策をどれだけ実施することができるかが、将来的に乱暴な者がいないまち（生まれないまち）になるポイントであると考えられる。	本計画では、「道徳教育などによる規範意識の醸成、安全・安心に関する教育、補導等の活動、薬物乱用の防止、いじめの防止等のための対策により、青少年の健全育成を推進する」としています。青少年の非行を生まない地域の実現を目指し、青少年の非行防止施策を総合的かつ積極的に展開します。	2	①
95	最近、子どもが被害者になる事故が多発傾向にあることから、警察、学校、役所と連携して防犯力を高める安全セミナーの開催を定期的に計画してはどうか。	子どもの危機回避能力を向上させるため、学校、警察、地域、NPO、学生ボランティア等と連携して「安全セミナー」や「地域安全マップづくり」を実施しており、今後も継続して実施していきます。	2	①

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済み、または計画期間中に実施・検討予定
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
その他				
96	現在、自治区会とまちづくり協議会が、ダブルスタンダードのような運営になっている。早急に1校区1自治区会とし、上記団体とともにまち協として運営する体制になれば、効率よい地域活動が実現できると考える。	本市が目指す安全・安心な「住みよいまちづくり」には、自治会やまちづくり協議会の存在は欠かせないものとなっています。 今後も、自治会やまちづくり協議会が地域の実情に応じて取り組む活動を支援し、人の繋がりや暖かさを実感できる地域コミュニティの形成を図っていききたいと考えております。 なお、ご意見は、今後の検討課題とさせていただきます。	4	④
97	まちづくり協議会・自治区会への事業としての支援のあり方を見直し、行動計画の中に明文化すべきである。		4	④
98	市民センター・公民館を拠点とした事業・活動に関する位置づけを明文化すべきである。		4	④
99	防犯カメラについては、プライバシー保護の観点から行ってほしい。	現在設置している防犯カメラについては、「北九州市防犯カメラシステム管理運用要領」の規定に基づき、撮影した映像は、犯罪捜査等の場合以外持ち出すことがないように厳重に管理するなど、防犯カメラの運用に当たっては、プライバシーに配慮した適切な管理運用を行っています。	4	④
100	通勤途中に、ゴミをゴミステーションに車から投げ捨てる人もいるなど、ルールを守らない人もいるが、近所の人ではなく、たまたま通る道のステーションに捨てていくため、注意のしようがなく困っている。	決められたゴミステーションにごみを出すことは「北九州市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例」に定められたルールです。 ごみ出しルール違反者に対する指導のほか、教育・啓発を行い、意識の高揚を図るなどして、迷惑行為の防止を推進します。	4	④
101	ゴミの収集の時間が遅く、カラスが散乱し、いつも決まった人が掃除をしなければならない状況が多くある。もう少し早い時間、決まった時間に収集してほしい。	ごみ収集は作業効率を踏まえたルートで行っています。そのため、収集時間が遅い地域があるほか、その日のごみ量、天候、交通状況により収集時間が前後することがありますので、ご理解ください。	4	④
102	意見募集については、市が市民に問いかけている内容が分かりにくいので、簡単な5択式がアンケート式で問うのが良いのではと思う。	市民意見提出手続きについての課題として、今後の参考にさせていただきます。	4	④

意見に基づく「北九州市安全・安心条例行動計画」(案)の修正

修正 1

【意見概要】 市民意見 No.34～37

- ・生活安全パトロール隊について、帽子・ジャンパー・懐中電灯・腕章等は5年に1回程度で、必要なパトロール隊で要求のあった隊のみに配布してほしい。
- ・青色パトロール車には、年間使用燃料 50 リットル程度の補助をしてほしい。
- ・ボランティア活動をするにも、ある程度の制服・帽子等が必要。可能な範囲で立ち上げ活動資金（補助金）として、支援してほしい。
- ・パトロール隊への制服、帽子など支援をもっと手厚くしてほしい。

【修正箇所】

方向性Ⅱ 安全・安心な環境の構築 【15 ページ】

【主な施策】(1) 地域における安全・安心に関する活動の推進（ソフト面）

●地域活動の推進 ⇒下記のとおり、文言を修正。（下線部が修正箇所）

旧	新
安全・安心に関する地域活動の効果を上げるための知識（犯罪機会論、割れ窓理論、ホットスポットパトロール等）や情報の提供、教室や講座の開催、 <u>パトロール活動等に対する支援により</u> 、地域における安全・安心に関する活動の促進を図る。	安全・安心に関する地域活動の効果を上げるための知識（犯罪機会論、割れ窓理論、ホットスポットパトロール等）や情報の提供、教室や講座の開催、 <u>パトロール活動等に対する地域の实情や要望を踏まえながら</u> 、地域における安全・安心に関する活動の促進を図る。

修正 2

【意見概要】 市民意見 No.13

- ・専門用語には説明があるとわかりやすい。

【修正箇所】

下記の用語に説明文を追加。

- ・ 3 ページ「刑法犯認知件数」
- ・ 14 ページ「ニセ電話詐欺」
- ・ 18 ページ「GIS」
- ・ 20 ページ「DV」
- ・ 22 ページ「AED」
- ・ 28 ページ「スクールソーシャルワーカー」